

川の生きものを調べよう

水生生物による水質判定

I きれいな水

ナミウズムシ
×5
実物大
石の表面にはりついていて、伸び縮みする中・下流部には外來種がいることがある
肩状のとがった突起
また、体に横線があるのも外來種
外來種
アメリカツノウズムシ

ヒラタカゲロウ類
×2
実物大
平たい体
えら
尾は2本
流れの速い石の表面にはりついている

カワゲラ類
×2
実物大
つめは2本 (カゲロウは1本)
体ががんじょうな感じがする石の下やすき間にいる

サワガニ
×3
実物大
頭は赤〜茶色 (クロスジヘビトンボ米は黒)
こらに丸み
甲らに丸み
体色は赤色、茶色、青白色のものがあるが、同じ種類である

ヘビトンボ
×3
実物大
棒状の突起
強力な大あご
流れの速い石の下にひそんでいて、えものおそろ

ブコ類
×5
実物大
頭
急流の岩や石に吸盤ではりついている集団をつくり、石が黒く見えることもある

アミカ類
×2.5
実物大
吸盤
腹面に吸盤があり、急流の岩や石にはりついている

ナガレトビケラ類
×3
実物大
流れの速いところにいる

ヤマトビケラ類
×3
実物大
小さな石粒の巣
流れの少しゆるやかなところの石面に多い

ヨコエビ類
×2
実物大
第2触角が第1触角の1/2以上
最も後ろの足が、その前の足より長い
上流の石の下や水中にたまった落葉の間にいる

タニガワカゲロウ類
×1.5
実物大
平たい体
尾は3本
体はヒラタカゲロウ類に似ている流れの速いところにいる

I, II 両方でみられる水生生物 (指標種ではない)

II ややきれいな水

カワナ類
×0.5
実物大
平たい触角
平たい体
流れの少しゆるやかなところにいる外來種のコモチカワツボ米は数mmと小型
外來種
コモチカワツボ米
一般的の口が丸
一般的の口がひし形

コオニヤンマ
×2
実物大
平たい体
流れが少しゆるやかなところにいる

ヒラタドロムシ類
×2
実物大
平たい体
石の表面にはりついている

チラカゲロウ
×2
実物大
背中1本の白いすじ
前足に長い毛の列
流れのやや速いところにいる

ヒゲナガカワトビケラ類
×1.5
実物大
頭が細長い
流れの速い石の間に網をはってえさを集める体色は茶〜黒色
左右に大きめの石粒をつけた巣

ニンギョウトビケラ類
×1.5
実物大
頭に広い平らな面がある
流れが少しゆるやかなところの石面にいる

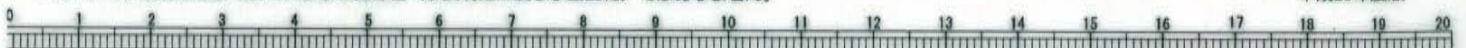
コガタシマトビケラ類
×3
実物大
浅い凹み
頭部の前縁に浅い凹みがある

ゲンシボタル
×2
実物大
前胸の横線が異なる
ゲンシボタル
ヘイケボタル米
流れが少しゆるやかなところにいるカワナをえさとする

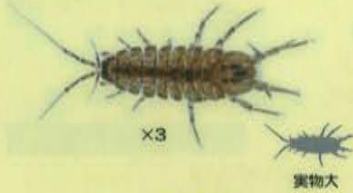
オオシマトビケラ
×2.5
実物大
流れが少し速いところにいる

*のついでいる生物はよく似ていますが指標種(水質判定に使う水生生物)ではありません。

平成23年度版



III きたない水



ミズムシ

落葉のあるところではきれいな水にもいる



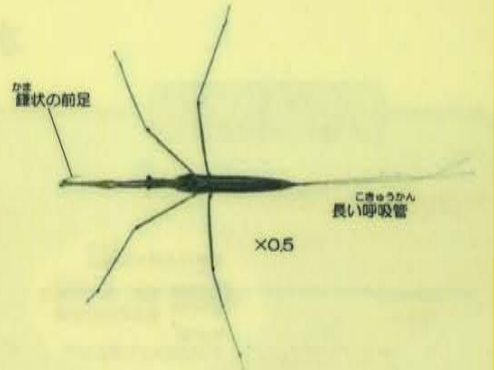
シマイシビル

背中に縦縞模様がある
伸びたり縮んだりする
尾の先に吸盤がある



タニシ類

流れのゆるやかなところにいる



ミスカマキリ

川では川岸の草の中などにいる

IV とてもきたない水



エラミミズ

尾部にえらがある
流れのゆるやかなところにいる



サカマキガイ

多くの巻貝と違い、左巻き
流れのゆるやかなところにいる



アメリカザリガニ

北アメリカ原産の外来種
流れのゆるやかなところにいる



ユスリカ類

腹部に2対(4本)または1対(2本)のひも状のえらがある
瀬でみられる赤いユスリカはセスジユスリカやハイロユスリカが多い



チョウバエ類

尾部、腹部背面にかたい部分(キチン板)がある

汽水域(海水が混じっているところ)

II ややきれいな水



イシマキガイ

石や崖にはりついている
淡水域にもいることもある

ヤマトシジミ

砂や泥の中にある
汽水域にはマシジミや外来種の
タイワンシジミがいる

III きたない水



イソコツブムシ類

石の下にいる
さわると丸くなる

ニホンドロソコエビ

泥の上や中にある
河川の上・中流部にも淡水性のヨコエビ類がいる

*のついている生物はよく似ていますが指標種(水質判定に使う水生生物)ではありません。

